



こんにちは！株式会社のぐちです！9月です。「推し活」良く耳にします。自分にとってイチオシの人やキャラクター「推し」を応援する活動のこと。推しのグッズを集めたり、ライブやイベントに出かけたり。その対象はアイドルや俳優といった実際の人物や、アニメ・ゲームのキャラクター、鉄道や建築物などジャンルは問わず幅広く、さらにはYouTuberやVtuberにも及ぶそうです。ちょっと面白いのが、ある下着メーカーが行なった「推しパン総選挙」お気に入りのパンツを見つけるとそれしか履けない人が案外多いことから開催したとか。昔は「おっかけ」「出待ち」なんて言葉もありました。時代はどんどん変化しています。がんばろう！

それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社のぐち



9月の歳時記

「彼岸花」

秋のお彼岸の頃になると艶やかな赤い花を咲かせる彼岸花。別名「曼珠沙華（まんじゅしゃげ）」はサンスクリット語で「天界に咲く花」という意味。おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくるという仏教の経典から来ています。日本では少々敬遠されてきたようで、「死人花」「幽霊花」「地獄花」などの怖い別名も付けられています。毒があることから「毒花」「痺れ花」などとも呼ばれています。モグラや野ネズミから土葬を守るために、墓地などによく植えられていました。彼岸花は田んぼのあぜ道や堤防川岸に多く生息し、唐突に花を咲かせます。普通の花は芽が出て、葉が出て茎をのぼし花が咲きますが、彼岸花はその逆で花が終わった後に葉が出てきて冬越しをするとても珍しい生態を持っています。彼岸花は集合花。つぼみは細いろうそくの様、小さな花がひとつずつ開花して艶やかな花になります。敬遠されてきた彼岸花ですが、海外から入ってきた園芸種ネリネの人気などから、明るいイメージに変わってきました。庭先に植えられたり、彼岸花まつりや彼岸花ツアーといった企画もあるようです。大沼の遊歩道でも見られます。真っ赤な花が群生している景色は見事です。毎朝の散歩が楽しくなりますよ！

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「強力ミニマグネット」

小さいのにしっかり固定！強力ネオジウム磁石を使用したミニマグネットです。散らかりがちな小物のちょい掛けに便利なフックタイプと、掲示物の内容を隠さず留める粒タイプ。フックタイプはSサイズとLサイズが選べます。やわらかくコシのあるエラストマー素材。接地面に傷がつきにくく、ピタッと止まっておちにくい。キッチンの輪ゴム掛に。ごちゃごちゃしがちな充電コードの整理に。ペンやハンコなどはフックに取り付けたまま使用可能。粒タイプはクリアとカラーミックスの2種類。A4コピー用紙約7枚をしっかりと固定。つまみやすい窪みのある形状なので、つまむ際に力が入りやすく、取り外ししやすい！小さいのに力持ちで「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



標準小売価格 フックタイプ ¥660(税別)
粒タイプ ¥530(税別)

長男は早くも中二年の夏休み。部活に遊びと勉強そっちのけ。自分が同じ年代の頃を思い起こすと、やっていることは違えども、近からず遠からずだったかもしれませぬ。

当時は県央の西側の町に住んでいましたが、自転車にはまり友人らと計画を立て、テントやら大荷物背負って那須まで自転車で行ったことを思い起こします。

深夜に出発して昼頃にロープウェイ駅に到着。そのまま茶臼岳登山と若さゆえの無茶なことをしていました。朝日が昇る頃から1時間毎に公衆電話から自宅へ生存連絡笑。携帯電話などない時代でしたから、さぞ親を心配させていたことでしょう。

とっ、こんな夏休みを送っていたわけで、始業式近くにはたまった宿題でてんやわんや。お約束の親の怒号が飛び爆

時代が変わっても、この夏の終わりの風物詩は変わらないのではないのでしょうか。

SE・鈴木でした。



スタッフ登場

